

令和 2 年 第 4 回
京 田 辺 市 議 会 定 例 会

一 般 質 問 (質 問 項 目 ・ 要 旨)

傍 聴 用

京 田 辺 市 議 会

12月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
12月7日 (月)	1	はしもとよしゆき 橋 本 善 之 (自民一新会)	1
	2	うえだたけし 上 田 毅 (京都南風の会・日本維新の会クラブ)	2
	3	えのもとこうすけ 榎 本 昂 輔 (自民一新会)	4
	4	むこうがわひろし 向 川 弘 (公 明 党)	5
	5	おかもとりょういち 岡 本 亮 一 (日本共産党京田辺市議会議員団)	6
12月8日 (火)	6	かたおかつとむ 片 岡 勉 (NEXT京田辺)	8
	7	あおきこうじろう 青 木 綱 次 郎 (日本共産党京田辺市議会議員団)	9
	8	ながたかずや 長 田 和 也 (NEXT京田辺)	10
	9	よしたか ゆ か こ 吉 高 裕 佳 子 (市民とともに歩む女性議員の会)	12
	10	ますとみり つ こ 増 富 理 津 子 (日本共産党京田辺市議会議員団)	13

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
12月9日 (水)	11	なんぶとしこ 南部登志子 (無 会 派)	14
	12	あきづきけんすけ 秋月健輔 (京都南風の会・日本維新の会クラブ)	16
	13	つぎたのりこ 次田典子 (市民とともに歩む女性議員の会)	18
	14	たはらのぶゆき 田原延行 (自民一新会)	20

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としています。

1 中学校給食について

- (1) 9月7日から10月6日までの間、京田辺市中学校給食基本計画(案)に対するパブリックコメントが実施され165件の意見が出されたが、意見に対して市はどのように対処しようとしているのかを問う。
- (2) それら意見を踏まえて今後の市の方針を問う。

2 行政改革実行計画について

第3次総合計画時点での平成28年度～令和元年度の行政改革プランの成果検証及び、今般策定された第4次京田辺市総合計画基本構想まちづくりプランの推進と併せた行政改革実行計画(令和2年度～令和5年度)の目指すべき市のビジョンについて、特に以下の項目についての市の考えを問う。

- (1) 市民と行政のパートナーシップ構築に掲げる「市民参画、多様な主体との協働の推進」に係る市民協働の推進及び大学連携の推進について
- (2) 効率的な行財政運営に掲げる「財政健全化の推進」に係る新たな企業立地に向けた取り組み及び田辺中央北地区について
- (3) 効率的な行財政運営に掲げる「職員の適正配置と人材育成」に係る職員の資質向上をはかるための人材育成について

1 学校通学路整備について

- (1) 小学校通学路の防犯カメラ及びLED防犯灯の設置について、松井ヶ丘小学校通学路に続く今後の通学路の防犯カメラ及びLED防犯灯の設置計画を問う。
- (2) 「キララちゃん議会」においても同志社女子大学生からの質問にもあった、大学から駅までの通学路において防犯灯が少なく暗いとの指摘もあり、現場確認したところ確かに暗い状況である。女子学生にとっては恐怖心を抱く。市の対応を問う。

2 給食センター建設計画について

文教福祉常任委員会において申し上げたが、給食センター建設予定地は冠水地域での建設計画であるため、近年の異常気象から考えられるあらゆることを鑑みて、防災の観点から対応のできる造成計画、また対応のできる建築を考慮した計画の最短及び最長の計画案を問う。そして何より建設場所決定をしたのならば工事着工の早い対応を要望する。

3 小学校給食費等の滞納及び今後あり得る中学校給食費滞納問題について

- (1) 小学校給食費及び留守家庭児童会保育料において、現在の滞納金額並びに、前年度と前々年度滞納からの徴収率及び徴収方法を問う。
- (2) 今後、中学校給食が進められるにあたり、それは非常に喜ばしいことではあるのだが、小学校給食滞納問題、留守家庭児童会保育料滞納問題同様、中学校においても滞納という問題が生じる恐れがある。
- 小学校同様、そういった問題が生じることは本市にとって、財政上デ

上田 毅

メリットでしかない。また、きちんとお支払いされている方に対して不平等であるとの認識から、中学校給食においても同じ繰り返しをしないよう対策が必要である。教育委員会の認識を問う。

1 本市の都市計画について

- (1) 北陸新幹線の新駅設置に向けたまちづくりについて、今後の市の取り組みと将来ビジョンについて問う。
- (2) 田辺中央北地区新市街地整備の進捗を問う。
- (3) 近鉄興戸駅前の開発について、市のビジョンと現在の進捗を問う。
- (4) 山手幹線の渋滞緩和に向けた本年度の取り組みと成果を問う。

2 若者が活躍するまちづくりについて

- (1) 同志社大学、同志社女子大学付近のまちづくり（学生街）の活性化について、市の考えは。
- (2) 本市の若者の意見を市政に反映させるための環境づくりについて、本市の取り組みと課題は。
- (3) 市民みらいミーティングの効果検証及びその成果を問う。

3 本市のふるさと納税について

- (1) ふるさと納税の増収に向けた取り組みと課題について
- (2) 現在実施しているガバメントクラウドファンディングの展望と寄附金の具体的な使い道について問う。

<p>1 子育て支援事業について</p>
<p>(1) 新生児が誕生した家庭に赤ちゃんお祝い金や商品券、育児用品セット等を贈る等の子育て支援拡充の考えは。</p> <p>(2) 新生児聴覚スクリーニング検査に対し公費助成をすべき。</p> <p>(3) 妊婦と子どもに対するインフルエンザ予防接種の公費助成をすべき。</p> <p>(4) 母子手帳アプリ等のデジタル情報の充実を図るべき。</p>
<p>2 防災訓練について</p>
<p>シェイクアウト訓練（防災一斉行動訓練）の実施状況や成果、課題等を問うとともに、コロナ禍における発熱者を想定した避難所要員による実訓練をすべき。</p>
<p>3 コロナ禍における学校等の行事实施状況および今後の方向性について</p>
<p>本年の幼稚園大会や運動会、修学旅行等における幼稚園、保育所及び学校行事の実施状況とW e b 配信等の活用状況を問うとともに今後の成人式、卒園、入園、卒業、入学式等はどのように実施するのか。</p>
<p>4 高齢者等におけるデジタル情報格差の対応について</p>
<p>(1) デジタル情報格差の把握状況と問題解決に関する市の考えを問う。</p> <p>(2) スマートフォン等の電子機器の使い方を教えるデジタル活用支援の考えは。</p>

1 中小企業の営業と暮らしを守る支援策について

全国各地で新型コロナウイルスの感染者が急増し「第3波」の感染拡大が起きている。このような現状から、安心して事業を継続できるよう以下の点を問う。

- (1) 市内中小企業の景気動向及び、経済状況についての認識は。
- (2) 国に対し、持続化給付金及び、家賃支援給付金の継続を求めよ。
- (3) 本市で実施された中小企業事業継続支援金（10万円）の第2弾となる支援金制度の実施を求める。
- (4) 中小企業融資利子補給制度について、事業継続の負担軽減の支援策として、利子補給の上乗せを行い実質無利子にすべき。

2 京田辺市学校施設長寿命化計画について

財政面からの視点でなく、子どもの教育、発達、成長などを第一に考えた施設整備を行うよう以下の点を問う。

- (1) 小学校の給食室について、現行の自校調理方式から給食を一括して共同調理場で作るセンター方式が検討されるとしている。子どもの食育や地産地消、災害時の対応など考慮し、自校調理方式で施設整備すべきと考えるがどうか。
- (2) 小学校教育における水泳指導の意義及び役割の認識は。
- (3) 小学校のプールは使用率に対して建て替え等の建設費や維持管理費が大きいことから、プールの集約化等を視野に入れるとされているが、児童生徒の学習をどう保証されるのか。

3 (仮称) 南部住民センター建設について

岡本 亮一

- (1) 市は、「地域住民の交流の場、文化活動の拠点としての機能確保に向けて、調査・検討を続ける」としているが、その進捗状況及び、検討結果を問う。
- (2) (仮称) 南部住民センター建設庁内検討委員会の設置を求める。

1 本市における空き家対策について

- (1) 本市における空き家対策の実績と評価について問う。
- ア 空き家・空き室バンクの取り組みについて問う。
 - イ シルバー人材センターとの「空家等の適正な管理の推進に関する協定」締結による取り組みについて問う。
- (2) さらなる取り組みの強化策について問う。
- ア 部局間の連携による取り組みが必要である。

2 水害に備えた防災・減災の対策について

- (1) 想定浸水深看板の取り付け（まるごとまちごとハザードマップ）の取り組み状況について問う。
- (2) 水害に備えた取り組みの強化について問う。
- ア 地域と連携して取り組むことが必要である。
 - イ 防災教育や防災講座などの取り組みをしてはどうか。

1 下水道料金引上げ中止を

- (1) 1. 4倍もの下水道料金の引上げは市民生活に重い負担となる。
- ア 市民全体としての引上げ額の見通しを明らかにされたい。
 - イ 負担増の影響についての市の見解を問う。
- (2) 下水道事業会計では、2018年度から公営企業会計方式へ移行し、一般会計からの繰出額が急減している。
- ア その理由を明らかにするよう求める。
 - イ 繰出額の減額を見直し、2017年度以前の水準を維持するよう求める。
- (3) 下水道料金の引上げ中止を求める。

2 小学校給食調理民間委託の見直しを

2010年度より、経費削減を目的に小学校給食調理の民間委託が導入された。

- (1) 導入してから10年間の「財政効果」はどのようなものであったのか、明らかにされたい。
- (2) 2019年度決算では給食調理業務委託料が急増した。
- ア その理由について明らかにされたい。
 - イ 急増により、児童一人あたりの経費では直営校を上回る例も生じている。調理民間委託を見直すべきと考えるが、市及び教育委員会の見解を問う。

3 地域要求について

JR松井山手駅東側の一般車用ロータリー周辺にベンチの設置を求める。

<p>1 バス交通網維持への取り組みについて</p>
<p>(1) 「京田辺市内路線バス無料の日」事業の成果と評価について問う。 (2) バス交通網の維持について、市としての取り組みを問う。</p>
<p>2 健康推進事業について</p>
<p>(1) 本市では、現在、様々な健康関連事業に取り組まれているが、関連部局の横断的連携を軸に、一つの大きな健康推進事業を中心に置き、既存健康関連事業を枝葉として連携することで、市民の健康への認知と意識の向上を促して行くべきと考えるが、市の認識は。 (2) 敬老会が実施できない状況で、それに代わる事業を検討されているのか、市の認識は。</p>
<p>3 G I G Aスクール構想について</p>
<p>(1) 備品導入の進捗状況を問う (2) タブレット導入後の授業での使用と、それに関係する教員や学校間での連携について問う。</p>
<p>4 観光推進事業について</p>
<p>(1) 市内観光対象施設におけるトイレ問題について問う。 (2) 先日行われた同志社女子大学メディア創造学科との模擬議会で提案されていた、若年層向け観光案内について問う。 (3) 甘南備山の整備について問う。</p>
<p>5 地域の要望について</p>

長田 和也

- (1) 薪東沢公園整備について、今後のスケジュールを問う。
- (2) 市道長尾谷大欠線の歩道拡幅について問う。

1 子ども達を暴力から守るために

- (1) 子どもへの暴力について、現在市はどのような防止対策をしているか。
- (2) 家庭、学校、地域が一体となって子どもへの暴力防止に努めるために、予防教育としてCAPプログラム（子どもへ暴力防止プログラム）等を行うこと、また、中学生へのデートDV教育を提案する。

2 環境政策について

ごみ減量化と家計応援の観点から、「京田辺エコパークかなび」での市独自の幼稚園、中学校、高校などの制服リユースを提案する。

3 京田辺市中学校給食基本計画（案）について

- (1) パブリックコメントの検証は。
- (2) 意見に対しての市の考え方の内容について問う。
- (3) 多数のパブリックコメント結果からも、市民への丁寧な説明が必要と考える。各地で説明会を開催すべきと考えるが、教育委員会の見解を問う。

1 高齢者が安心して住み続けられる施策の充実を

- (1) 第8期高齢者保健福祉計画案（介護保険事業計画）について問う。
 - ア 第7期介護保険計画の到達と課題は。第8期計画の重点とする問題は。
 - イ 介護保険料は高齢者にとって負担の限界にきている。これ以上引き上げるべきでないと考えるが市の見解は。
- (2) 65歳以上も介護保険サービスを一律に優先させることなく、必要な障害福祉サービスを利用できるように制度の充実と人材確保、整備を。
- (3) コロナ禍での集団感染を防ぐため、介護・福祉施設で働く職員や入所者に、定期的にPCR検査が受けられる取り組みの具体化について問う。
- (4) 加齢による難聴に早く対応することは、認知症やうつ病などへの進行を防ぐという意味で、医療費の削減にもつながるといわれている。軽・中等度難聴者へ補聴器購入の助成を。

2 中学校給食実施にむけて

- (1) 中学校給食基本計画案のパブリックコメントの結果について問う。
- (2) 給食の意義と役割について、とりわけ子どもたちの成長と教育にとって、どのように考えているのか市長の見解を聞く。

3 地域要望について

- (1) 防賀川緑道に設置されたベンチの老朽化が進んでいる。子どもの遊び場にもなっているため点検と整備を。
- (2) 新田辺駅東住宅地域の歩きやすい道路整備の進捗を問う。

1 新型コロナウイルス感染症の影響と対策

- (1) 本市での感染の特徴とその対策について問う。
- (2) 市財政や市事業への影響と今後の見通し、対策について問う。
- (3) 市内業者や市民生活への影響（失業・廃業・休職・生活保護申請者数など）と今後の見通し、対策について問う。
- (4) 市長や議員など特別職の報酬の削減を求める。

2 普賢寺地域の里山の暮らしを守るために

- (1) 害獣被害の現状と対策について問う。また、電柵設置や狩猟免許の取得・維持への経済的支援を求める。
- (2) 耕作放棄地（山林含む）の現状について問う。
- (3) イノシシが里山に出てくることで、田畑や山林が崩される被害が出ている。このことは、災害発生時に大きな被害を生み出す要因となる可能性がある。市の認識と対策について問う。
- (4) 農業従事者数の推移と後継者の育成（移住を含む）について問う。

3 障がいのある方とご家族への支援

- (1) 24時間の見守りや支援を必要とする障がい者の方が増えている。その現状と今後について問う。
- (2) 見守りや支援体制を継続し、かつ充実させていくためには、介護従事者の確保が必須である。市の対策は。
- (3) 障がいのある方とともに生活されるご家族への生活支援については、この間かなり充実されてきた。今後は、ご家族全体あるいはご家族個別への心理的なサポートも含めて、細やかな対策を講じる必要があると考

南部 登志子

えるが、市の認識を問う。

1 ICT人材の現状について

- (1) ICT人材の人材不足に対する本市の認識について問う。
- (2) ICTを活用できる人材として内部の人間を育成教育していくと以前に答弁いただいたが、現状について問う。
- (3) 現状の市役所内での業務に関して、IT業界や技術トレンドへの関心をもった人材の不足及び人材のスキル不足により、レガシー過ぎる手段・ツールに依存しすぎて効率化への遅れが散見される。このことが人材に及ぼしている影響について問う。
- (4) (3)のような問題は業務に対して適切な頻度でかつ適切な見直しを継続して行っていれば発生しないはずであるが、本市の認識は。

2 持続可能な組織運営のための高度ICT人材の必要性について

- (1) 近年の組織運営において高度ICT人材の内部雇用が持続可能な組織運営に必要不可欠になってきているが、本市の認識を問う。また、高度ICT技術者の定義の認識を問う。
- (2) 高度ICT及び従来型ICT人材の違いの認識について本市ではどのように認識しているか。また、持続可能な組織運営のために、従来型ICT人材から高度ICT人材へ変革することについて問う。
- (3) 開発・運用・セキュリティ等、ICT人材の実務経験者の雇用の実態と管理の難しさについて市の認識を問う。

3 ICT人材の雇用環境・キャリアについて

- (1) DX(デジタルトランスフォーメーション)についての市の認識を問う。

- (2) 以前にテクノロジーに対してはアーリーアダプターである必要性はないと答弁をいただいたが、何を以てどのような基準でそれを判断しているのかを問う。
- (3) 有能な技術者を獲得・継続的に勤務してもらうための環境づくりについて問う。

1 コロナ禍でも安心して暮らせるまちづくりを

- (1) 市内感染状況についてどのように認識し対応を考えているのか。
- (2) PCR検査を消防職員、教員、ヘルパー、保育士、甘南備園職員等が定期的に受けられるようにすべきだ。
- (3) 何故サーモカメラを市役所に設置し有効活用しないのか。
- (4) 感染防止に向け啓発が不十分だ。もっと積極的にするべきだ。
- (5) 市民とりわけ高齢者や女性の孤立化を防げ。

2 公共施設と安全対策について

- (1) 給食センター建設予定地が浸水想定区域となっている。安全は保障できるのか。
- (2) 甘南備園建て替え用地は土砂災害警戒区域だ。安全は保障できるのか。
- (3) ハザードマップの意義と認識を示せ。

3 高齢者が充実した生活ができるために

- (1) 高齢者が積極的に社会参加できるようにIT教室を開くべきだ。
- (2) 近鉄新田辺駅周辺の段差や根上がりで危険なところの整備をせよ。
- (3) 高齢者ドライバーへの交通安全教室など市が積極的に開催せよ。
- (4) バスなど公共交通を利用しやすくするために運賃の補助を早急に行なうべきだ。

4 不登校問題

- (1) コロナ禍の中、不登校の状況と認識はどうか。
- (2) 新年度に向け、夜間中学へのPRの徹底と洛友中学校昼間部の入学が

次田 典子

可能となるように努力するべき。

1 農業政策について

農家の高齢化や後継者不足は農地の荒廃化をもたらすこととなり、営農環境の悪化をはじめ治水や景観などに深刻な問題である。市としての今後の農業政策について問う。

- (1) 農業の後継者不足対策を問う。
- (2) 農業の担い手として地域で活躍する集落営農組織の育成・支援の考えを問う。
- (3) 効率的な農業経営は農業基盤整備が必要不可欠である。市の整備方針を問う。

2 自治会と市との連携について

- (1) 市政協力員制度が廃止され8か月が過ぎるが、区・自治会組織とどう向き合ったのかを問う。
- (2) 自治会の要望については一括申請出来ないか、また継続要望については過去のデータを参考に要望書は省略できないか市の考えを問う。
- (3) 市政協力員制度の廃止に伴い、これまで以上に市と地元区・自治会との連携強化を図る必要があるが、そのための専任の市担当者の配置はどのように考えているのか。
- (4) 災害時における女性スタッフの配置充実は重要な課題である。市の考えを問う。

3 住宅の有効活用と空き家対策について

- (1) 市長の令和2年度施政方針で「ソリデール事業」に向けて、啓発イベントの開催方針が示された。これまでの事業展開並びに将来的にどのよ

うに展開していくのかを問う。

- (2) 全国的に深刻な問題となっているのが空き家である。そのためにまずは空き家バンクの充実が重要である。市の取り組みを問う。また、空き家の防止対策について問う。

4 防犯カメラ設置について

- (1) 自治会で設置する「防犯カメラ」に対する補助金について問う。
(2) 防犯カメラ設置の拡大に向け今後の進め方を問う。
(3) 防犯カメラ設置の進め方として民間企業の参入も考えられるが市の考えを問う。

5 地元要望について

- (1) 松井山手周辺の渋滞緩和策の一案として、山手幹線と交差する第二京阪道路側道の信号を三現示から通常に戻す事で改善されると思うが市の考えを問う。
(2) 自治会要望の市道責谷3～6号線のアスファルトの表面が劣化した道路補修について時期を問う。